

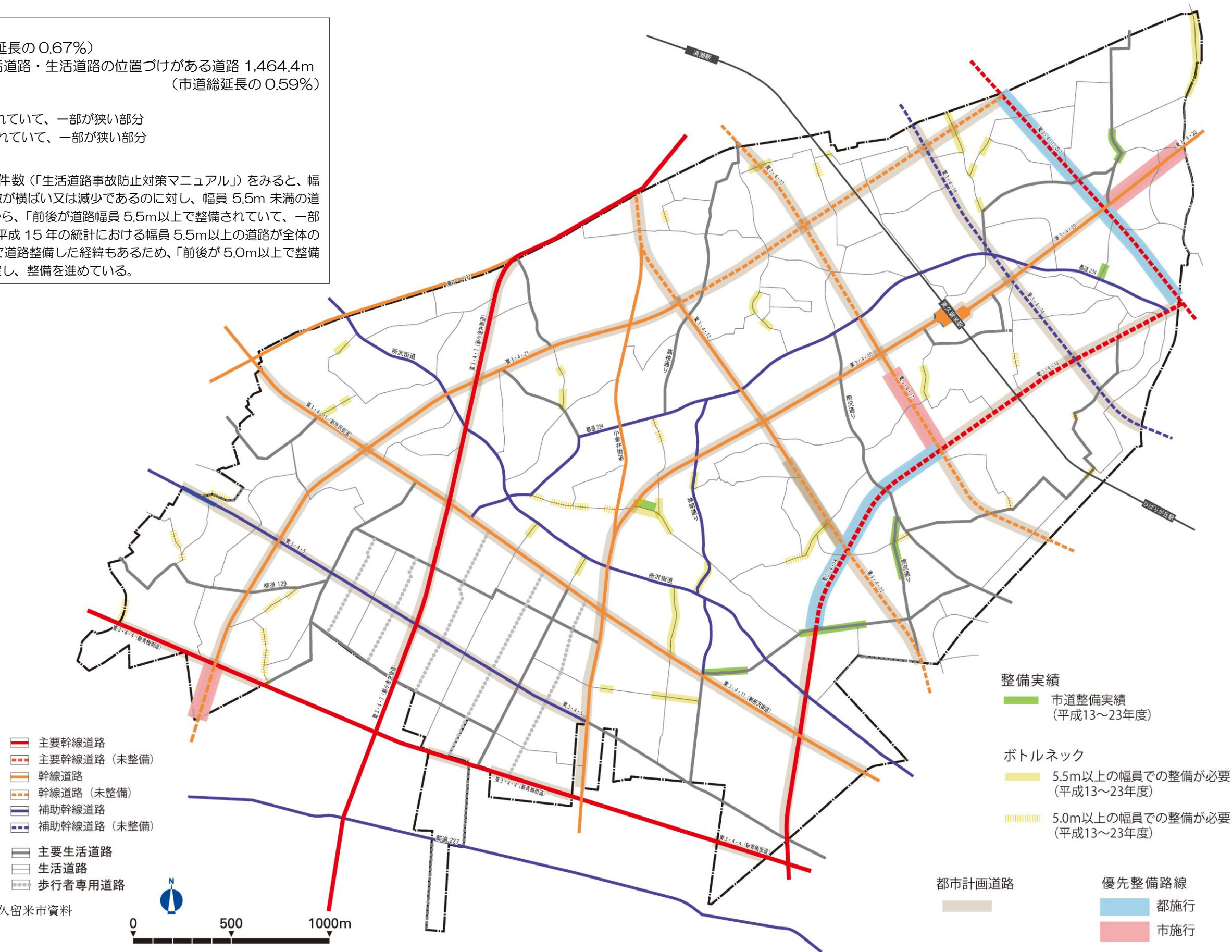
第6回委員会補足資料

・平成 12 年(都市マス策定時)以降の道路整備実績
・ボトルネック箇所

■整備実績
・整備総延長 1,653.4m (市道総延長の 0.67%)
うち、現行都市マスに、主要生活道路・生活道路の位置づけがある道路 1,464.4m (市道総延長の 0.59%)

■ボトルネック箇所
・前後が道路幅員 5.5m 以上で整備されていて、一部が狭い部分
・前後が道路幅員 5.0m 以上で整備されていて、一部が狭い部分 (選定根拠)

平成 12 年以降の道路幅員別事故件数(「生活道路事故防止対策マニュアル」)をみると、幅員 5.5m 以上の道路における事故件数が横ばい又は減少であるのに対し、幅員 5.5m 未満の道路の事故件数が 9.2% 増であることから、「前後が道路幅員 5.5m 以上で整備されていて、一部が狭い部分」を選定。しかしながら、平成 15 年の統計における幅員 5.5m 以上の道路が全体の 21.6% と少なく、過去に幅員 5.0m で道路整備した経緯もあるため、「前後が 5.0m 以上で整備されていて、一部が狭い部分」も選定し、整備を進めている。



出典) 整備実績、ボトルネック箇所は東久留米市資料
その他は、これまでの資料参照

・みどりの資源と道路整備



出典) これまでの資料参照